

## ● ヤングケアラーとは

一般に、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもや若者のこと。 責任や負担の重さにより学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。 \*法令上の定義はありません。

<ヤングケアラーのしていることの例>



障がいや病気のある家族に代 わり、買い物・料理・掃除・ 洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだ いの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだ いの世話や見守りをしている



日を離せない家族の見守りや 声かけなどの気づかいをして いる



日本語が第一言語でない家族 や障がいのある家族のために 通訳をしている



本人に自覚がない 場合も

ることも



家族のために一生懸 命にケアを担ってい





家計を支えるために労働をし て、障がいや病気のある家族 を助けている



アルコール・薬物・ギャンプ ル問題を抱える家族に対応し ている



がん・難病・精神疾患など慢 性的な病気の家族の看病をし ている



障がいや病気のある家族の身 の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入 浴やトイレの介助をしている

## ● みなさんにできること

みなさんの周りに、ヤングケアラーかもしれないと気になる子どもはいませんか。 子どもたちが困りごとを話せるように、子どもたちの周りに信頼できる大人を増やしていきましょう。 例えば、次の4つのことを参考に、子どもたちやそのご世帯と関わってみませんか。

#### 見守る

まずは子どもの様子や家族 の様子を見守りましょう

#### 声をかける

いきなり、ケアのことを話 題にする必要はありません。 あいさつから始めましょう

#### 話を聴く

話せるようになったら、相 手の言葉を遮らず、まずは 話を聞きましょう。話しやす いように他愛のない話で構 いません

#### 気持ちを尊重する

子ども自身や保護者はどの ような意向をお持ちでしょ うか。支援の押し付けにな らないよう相手の気持ちを よく聞き、尊重しましょう

# ● 子どもたちの想いと会話のヒント

ケアを担っている子どもたちは、次のような想いを抱えていることがあります。 ヤングケアラーかもしれない子どもたちと出会ったときは、この想いを心に留めて接してみてください。

- 家族のために自らケアをしたいと思っ ている
- ●支援が必要とは思っていない



ケアを大切にしている子どもたちの気持 ちを尊重する

- ●ケアを否定すると、これまでしてきたことを否定 されたと感じる
- 家族が責められると自分が責められたと感じる



ケアや家族を否定せず、これまで担ってきたケアに 労いの言葉をかける

- 相談しようという発想自体がない
- 自分の家庭しか知らずに育ち、客観的な視点をもちにくい
- ●家庭のことを知られたくない
- ●話を聞いてもらう機会が少ない



孤独を感じやすいので、さりげない声掛けからはじめる

市町村に相談してみる

府内市町村のヤングケアラー相談窓口

大阪府 ヤングケアラー 窓口



支援事例を参考にする

ヤングケアラー支援事例集

大阪府 ヤングケアラー 事例集

Q



大阪府福祉部地域福祉推進室地域福祉課

電話: 06-6944-7602 ファクシミリ: 06-6944-6681 メール: chiikifukushi-g04@gbox.pref.osaka.lg.jp